



Column

繊細な受精卵への
ストレスを軽減



従来のシステムでは1日に1~2回しか受精卵を観察できなかった。しかしこのシステムでは24時間の観察が可能になり、細かな変化まで確認できるようになったことで、胚(受精卵)へのストレスを極限まで減らすとともに、経験豊富な胚培養士が丁寧に観察し、高い受精・培養結果が得られる。

おち夢クリニック名古屋

おちゆめクリニックなごや

TEL 052・968・2203

住 名古屋市中区丸の内3-19-12

久屋パークサイドビル8F

番 月~木/10:00~12:30 16:

00~18:00、金~日・祝/10:

00~12:30

休 無休

料 体外受精 ¥346,500~(完全

自然周期は成功報酬あり)

◎ 不可

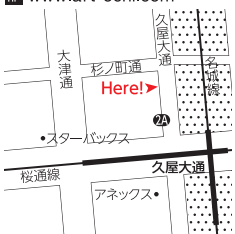
◎ なし

交 地下鉄名城線・桜通線久屋大

通駅2A出口より徒歩1分

予 要予約

HP www.art-ochi.com



先進の技術導入で
より良好な受精卵に

グレードの高い受精卵を獲得する先進の技術をいち早く導入することで、体外受精の精度をより高める取り組みを行っている『おち夢クリニック』。その一環として導入された『タイムラプスインキュベータ』は、デンマークで開発された画期的な受精卵の培養器。顕微授精や受精卵の凍結・融解などを行う培養室に8台も導入されたこの培養器。利用するメリットを院長は、「これまで、培養状態を確認するた

めには静止した状態でしか確認ができませんでした。しかしこの培養器を使用した『タイムラプス・インブリオモニタリングシステム』では、受精卵の成長過程を動画で確認・観察することができるようになり、凍結させる最適なタイミングを見極めやすくなったのです。また、受精卵を自動検出し、ベストポジションでのインターバル撮影が可能となり、卵が分割していく成長過程を動画解析するため、同じ受精卵の中でも、より良好な卵が選択できるようになりました」と語る。また、装置からディシ

を取り出すことなく観察できるようになったことも大きなメリット。今までは成長経過の観察をするために培養器からディシッシュを取り出す際、少なからず与えてしまっていた光や温度・PHの変化を抑えることになり、受精卵へのストレスが大幅に軽減されることに。結果、卵の成長成績がかなりよくなったという。最高水準の設備を整え、研究と工夫を常に続ける院長が親身に手助けしてくれる。より精度の高い体外受精を求める人ほど、納得のできる治療を受けることができるだろう。

精度の高い受精培養技術が 体外受精成功への近道に

デンマークで開発された画期的な培養器の使用が
受精卵の培養にどのようなメリットがあるか知ろう。

第2回

受精培養技術の話

婦人科
泌尿器科

Doctor



院長 越知正憲

Ochi Masanori

藤田保健衛生大学大学院卒。愛知県内の病院で経験を積み、最新設備と先進技術を併せ持つ同院を04年5月に開院。名古屋地区で最大規模の不妊専門クリニックとして、身体に優しい治療を続ける一方、藤田保健衛生大学にて客員講師も務める。



最新の培養システムでは受精卵をよりクリアに撮影し、動画での記録も可能。災害に備えて培養室には自家発電装置を用意している。